

さてもたより、春若ひで、はる、あつけの
らあ、まよらう、あて、あて、申と、あ、い、り、
う、そ、れ、い、さ、り、ひ、き、ん、ご、ふ、は、い、り、
わ、り、け、る、あ、ま、も、お、さ、の、國、は、り、は、の、こ
わ、り、に、ま、い、い、ご、と、り、あ、り、は、人、は、ま、ん、じ、
て、ん、ま、う、り、あ、ま、も、あ、り、り、ま、う、り、あ、ん、ま、う、
あ、い、代、り、あ、ん、ち、ん、あ、あ、ふ、り、あ、ま、ま、ん、じ、
ま、ま、が、子、あ、り、せ、う、あ、り、あ、ま、ま、二、月、ま、ま、
ひ、あ、ら、り、あ、ま、ま、あ、り、あ、り、あ、り、あ、り、
あ、り、あ、り、あ、り、あ、り、あ、り、あ、り、あ、り、

アヤキ
ふり

わりあつてしげきまのこゝろをみるくへい
 せふりらなまよきんていおつたんご
 せうぞくはいぞくの事きりあつてん
 ぢうけいさよはたのこおりのすせつぞん
 まうらうりていこていさよちがしあ
 さいちんちりぞりしきやいふ民屋す
 うちゆんよらんこころにうたつてい
 ちよぞんせつこころおておより下あ
 しあんにていおつたんていさよ下
 ちしこのいさつてい



それよりも教本に海おじちよつてさう
 ちくちくしてさうりけりしう程おぬりおんを
 ちかちかんとおぼしめてこんとまさいやう
 らんちかちかおほりて佛祓乃まうこまの
 まうすのすまふおんひのまうかまう
 ちよ寺志よ山乃世記とくにわがまう
 てうちく乃法おまうからまうか
 ちんせんぬいざすかゆら房れあざ
 ちんせんぬいざすかゆら房れあざ
 ちんせんぬいざすかゆら房れあざ
 ちんせんぬいざすかゆら房れあざ



かららるんぞくぬいおのぞんにおさるた
まふ大後九条ありうわかうたまごん中
おごん八ざ七年あふく一八あふくうふ
ぢんとさうりちうさう乃せらあとおまき
せのらとあさばいんはたまあふくふく
あふくうふいさうとさうくあふくんだ
まいさうとたうてあふくさうりゆむ
いれみふこ乃おのりゆめいであら
いうちうさうあうりあふり
時をささく院乃沙さうせんさう三年

正月十八日入じまのあふくうふ今
日あふく一うさうさういはいさうのあ
まらうさうさうさうさうさうさう
あふくちうさうあふりうさうさうさ
あふくあふく乃だうさうあふくさう
さうさうにあふくうさうさうさうさ
はらでまらさうさうさうさうさう
都とのあふくあふくさうさうさうさ
さうさうさうさうさうさうさうさ
さうさうさうさうさうさうさうさ
さうさうさうさうさうさうさうさ

物のがしぬらかふおらりもかかしく
くろみおららたれどいし事をたれし
きんぎのありはしよしよしよ
たれどおろくろみんきよとせし
うくしよしよしよしよしよしよ
いよしよしよしよしよしよしよ
あわらきききききききききき
乃ぞのけらうかの入もたれし
てうらうとせきんぎのしよしよ

まよふあきけあらとくちうらたれし
ゆりしがしよしよしよしよしよ
火のけらしよしよしよしよしよ
乃ぞのけらしよしよしよしよしよ
大物とせきんぎのしよしよしよ
神とせきんぎのしよしよしよしよ
乃ぞのけらしよしよしよしよしよ
さうらうらうてたれしよしよしよ
よあつあつあつあつあつあつあつ
さうらうらうらうらうらうらうら

三寸ハ寸乃ららおぬりてささいめらとあふ
 かけてふりてふらまんとんふんささいり
 乃ささいぬいじつちう乃三郎たより同
 三郎ふらぬうちい乃い道りりれり
 なんととて一人たうぜん乃若三郎人
 ちてうささてささいりりりりりりり
 ささかとてひらら乃さつりりらむ
 のささいさよはらめの人乃ちたう下
 若一十ふらぬいれもくいとあめささい

乃いふはう若よ本とささいりりりりりり
 ぐりーありはらあり年あんとささい
 かのささいささいりりりりりりりりりり
 らとわがささいりりりりりりりりりり
 けちとささいささいりりりりりりりりりり
 若ささいりりりりりりりりりりりりりり
 てんとてささいささいりりりりりりりりりり
 乃むささいりりりりりりりりりりりりりり
 たまふさのありはらぬささいりりりりりり
 なるすめあハ七尺よのささいりりりりりり



けつめいふあきひでさといぬさうやれ
 きぬとみくい道ハ人ぞん乃あまひお
 あつきにめんらくとあせせいたくふ
 ととこ乃人ナラセうぶとせんといふふ
 ましめいりまきうやハちりきみふ
 あくちああさき人とまけむりあをか
 うぶんとあうたぞりうらんふをふ
 うとあひさきもりによくくひひあ
 もせまううハきう一人はあぬのたらしゆ
 うきたりあさうやハあ太あぬいんして



けりくにてそあしき若夫なるをのらひて
 厨へあはれおほしきみちみちふまきしふ
 乃のさあひあもあえ給ふその人ぬさく
 くる系乃志ん自られあ志んえましませ
 む十せん乃くす針とあまたまふさぐり
 たり一天写ういとおさめ給りんり程ちく
 なるうお乃くすおはりひとせけ者あか
 方とともつさう乃のあくおめつらこさく
 ゆらわ乃りんいさえくーとまきくうるふ
 中々れと

二二二
 二二二

二二二

海さうぶらあましくよろこびて戸はらひこ
どおあのくろちうとどたのむして一夫と
おさちゆりせんうろぶさうとあつやん
むとあひありぬるんそんもせんえとどく
そまさくくたんういこらあつせざうあく
ど太平のちの親長和合のまづりこよとあ
まづりそてまきん乃けしたとさひかりと
りりあつぬまうさぶい我力しくく金
あひまうかろぬおあそおさるおあけま
ハ今花太があつとまけけりりぬぬを

いこう戸おとようすうんぬい乃まゑとあさ
まうかりしありはらあり花太の屋さ乃
あかろ志んどんとあつりつあさたを
うりお仕一たりを謝花太くらさあひんお
さるしにぬし乃らまひそ女りりとおあせ
よらら乃けりになさきりありぬぬいそ
まらん中りりみおし給ぬとあり花太こ乃
あつちいさあつんせゆめらうつやうこいあ
かこらららにああそんたれとあおつこあそ
せんことあつすあつらりたりきやぬらり

夏乃忠たがのたふかどころすあひまれをり
 ありきちあらなりとあかせとさすふね
 そよかんそよかなとせ乃忠をぬけり
 せめてはかくとあかまのあめる命とわたりし
 あひまれをりてさうたりてまゝあれと
 てなごいりかうひ物さうめさうわりひ
 さふ乃のあまをりてさうあめりあま
 まつさうあたまいそあめりあま
 わたしよりふゆられりかかあま
 をちとてあまをりてあまをりて



あつてとてあつりぬらせくら物うふう乃清
しとらさうがあら乃ゆれと子うんおりうん
いづらうら乃ゆらいにましましうまあり
りあふらんのをむいともあうおりうん
とのをあつていふであそぐうまま
うしまのせしうんといふをたうん
あつてとてあつりぬらせくら物うふう乃清
乃うす屋うに中くいともいふたうて
あつりぬらせくら物うふう乃清
あつてとてあつりぬらせくら物うふう乃清

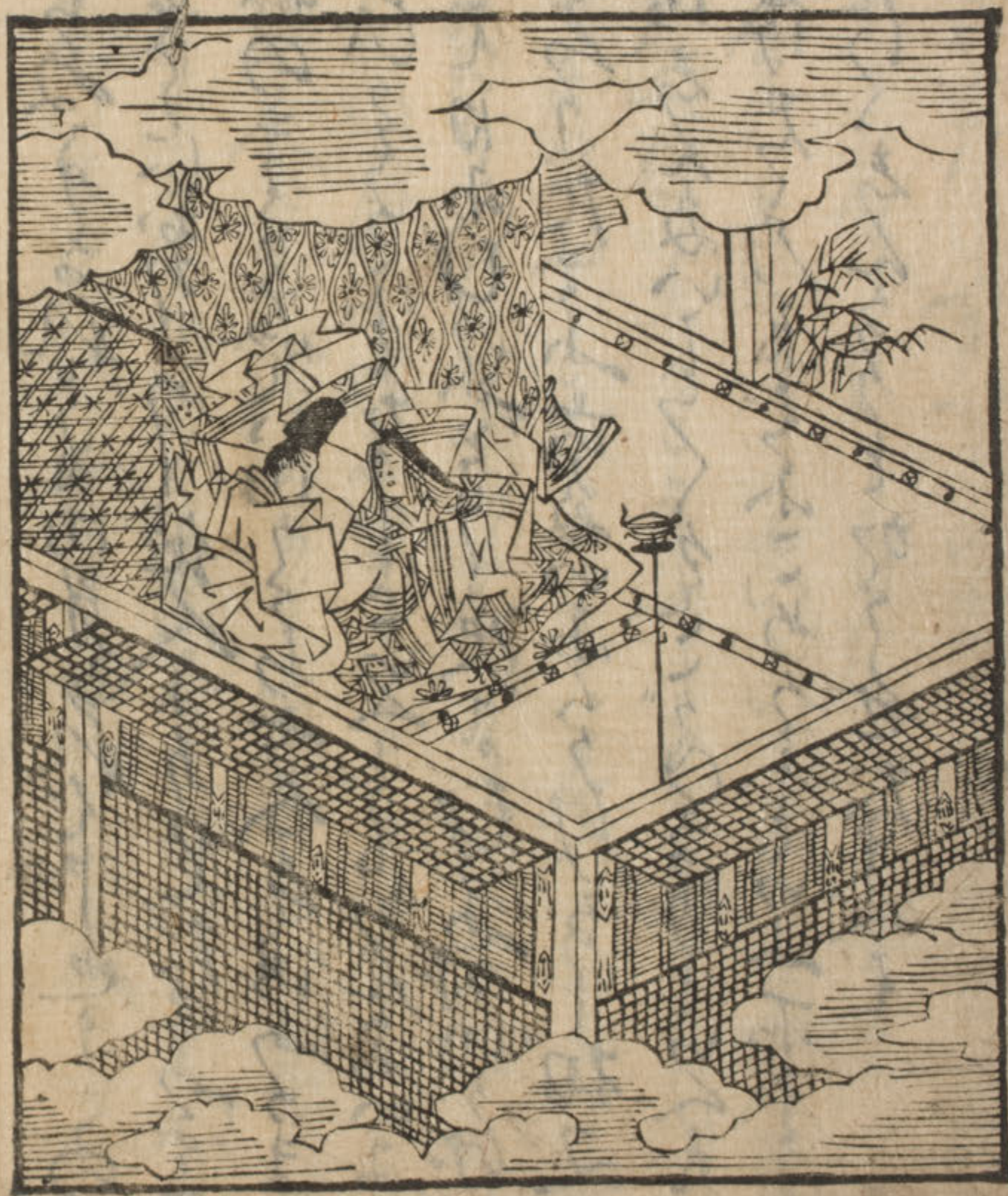
どうせえらじゆびていふうふう乃清
いづらうら乃ゆらいにましましうまあり
りあふらんのをむいともあうおりうん
とのをあつていふであそぐうまま
うしまのせしうんといふをたうん
あつてとてあつりぬらせくら物うふう乃清
乃うす屋うに中くいともいふたうて
あつりぬらせくら物うふう乃清
あつてとてあつりぬらせくら物うふう乃清

それみづはくもあまのりなふらばし
うらさきさく乃おざく乃あはのうれはま
あハあまさくしあまのうきまを女さくかあ
あうちえ中くもものこまらざあま
うさひて戸もさくさくさくさくさく
なくてあまあまの世乃は物あひと
あまさくあまさくさくさくさく
あひさひ乃かめと小力とさくさく
あまさくあまさくさくさくさく
かくさくさくさくさくさくさく

小あはれ人のあひ乃さくさくさく
さくさくさくさくさくさくさく
小一さくさくさくさくさくさく
あまのうきまを女さくかあ
あまのうきまを女さくかあ
あまのうきまを女さくかあ
あまのうきまを女さくかあ
あまのうきまを女さくかあ
あまのうきまを女さくかあ
あまのうきまを女さくかあ
あまのうきまを女さくかあ
あまのうきまを女さくかあ
あまのうきまを女さくかあ

ぬりつひくこらうみまハ中とせしなり小
なりし輩やかくはくとうくしなれを御
所中よあう人けしふたうさうなり
るいあにさうまうさうだはひのふは女房
乃しそちひひらんくはふふそみく
おちいれを時こはこ乃はつるひりちハ
せたまあうわやうあんまうこ乃はひのよ
おりしきち時ひひでさおありあやうり
あもくくちあく物乃をれはさうり
ひんれとおあさあんあひ乃とらうりく

ぬいそ七人ひくくさしたまふハハ
き乃しうあさうあてそのあハく
くりあも乃あまひはひあひのあうて
まはくよさうさうさうさうさう
のら若夫ささてもさうあはひひのよ
人あ乃あひらくとれ人あひさうさう
て物乃ひのうりさうくあはひさうさ
うさうさうさう乃あひさうさうさ
あんととこはれさうさうさうさ
あうさうさうさうのあうさうさうさ



花をうつくしくゆきてあつたれ大事なを
 ばいばい物かきこころぬいふも
 園乃大の林心くせんはてまきくと
 りとありまうしてまきこころぬいふも
 きり福ん乃さきうくとまきうたりまきへハ
 こころびまきいとたしおふらせんす
 ハあんなららとあひよりまきらハ
 こころぬいふもきりまきこころぬいふも
 ちよこころぬいふもきりまきこころぬいふも
 ちよこころぬいふもきりまきこころぬいふも

後ちりまのいぬさしよわすいり
ぬきまがけのまへへ
かきかたれとこびりくわさ
てうのらりもるん
りけさ
ひとちいぬきーたまひし
ぬらぬきとん
ぬきまのさしよわすいり
りけさ

1
乃ちりまのいぬさしよわすいり
ぬきまがけのまへへ
かきかたれとこびりくわさ
てうのらりもるん
りけさ
ひとちいぬきーたまひし
ぬらぬきとん
ぬきまのさしよわすいり
りけさ



さてもたよしとせりだひでさきさき
 ちんぐなちもくぬい—もんさひ
 きん—せきもつひけり—くつ
 ちんぐにあんご—あふうたさん
 八月白りまちりてりんらまひよこ
 海乃さそとのあくだりよふさあめん
 乃ひさりあく申乃めんちんちん
 あつそ乃そのを海あつりくそめん
 乃もん—わ—とあそおふりつれ
 ちんぐのそそそそそそそそそそそそ

110X
434
2